

WCS用稲極短穂茎葉型品種「つきはやか」の栽培実証

要約

早生のWCS用稲極短穂茎葉型新品種「つきはやか」について、移植栽培と鉄コーティング湛水直播の栽培実証を実施した。「つきはやか」は直播栽培で移植栽培より収量が落ちたものの、目標収量1,200kg/10aを超え、十分な収量を得ることができ、穂重割合も20%以下となった。倒伏、病害等も問題ない結果であり、「つきはやか」は移植、直播栽培どちらにおいても当地域に適した品種であることが確認された。

○ 展示のねらい

本県の基幹品種となることが期待されるWCS用稲新品種「つきはやか」について、当地域における栽培特性及び鉄コーティング湛水直播による栽培技術を実証する。

	品種	栽培方法	播種日	移植日	面積(a)	播種量
供試区①	つきはやか	移植	4/13	5/4	25	3.0kg/10a
供試区②	つきはやか	直播	5/5	-	19	4.0kg/10a
対照区	夢あおば	直播	5/22	-	54	4.0kg/10a

目標収量：1,200kg/10a、栽培密度：60株/坪

○ 主な成果

- ・すべての試験区で倒伏、病害、虫害も問題無く、順調な生育を確認することができた。
- ・乾物収量はいずれの試験区でも目標収量の1,200kg/10aを超えることができた。
- ・穂重割合は供試区①で約15%、供試区②で約20%、対象区で約50%と品種特性通り「つきはやか」は「夢あおば」よりも低い穂重割合を確認できた。
- ・サイレージの栄養価については、すべての試験区でV-SCORE100点と良質な発酵を確認できた。

表1 生育収量調査結果(調査日：令和4(2022)年9月29日)

	草丈	稈長	穂長	穂数	乾物全重	乾物茎葉重	乾物穂重	穂重割合
	(cm)			(本/株)	(kg/10a)			(%)
供試区①	144	111	13	17	1,737	1,482	255	14.7
供試区②	127	100	16	12	1,446	1,162	284	19.7
対照区	111	81	19	19	1,683	835	847	50.3

表2 サイレージ栄養成分分析結果

	DM	水分	栄養価(乾物中%)						pH	V-SCORE
	(%)	(%)	CP	EE	ASH	NDF	ADF	TDN		
供試区①	35.5	64.5	3.9	2.2	15.6	44.3	31.0	56.0	3.9	100
供試区②	43.5	56.5	3.7	2.1	14.7	46.6	32.7	56.5	4.3	100
対照区	38.9	61.1	4.9	2.4	14.6	43.6	24.7	56.7	4.0	100

○ 今後の方向性

「つきはやか」は稲WCS専用極短穂茎葉型品種の中では穂が多い品種である。また、鉄コーティング湛水直播栽培については技術を要する栽培方法である。これらのことに留意しながら、現場導入を推進していく。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：高根沢町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315